

# ふくし ふれあい

## CONTACT WITH WELFARE

2009  
SPRING  
春号  
No.47

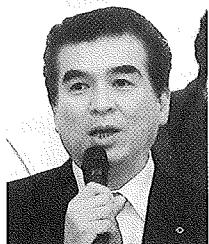
発行 熊本県労働者福祉協議会 発行者 手嶋一弘 編集者 吉永徹男 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp  
事務局 熊本市九品寺1丁目17-9 熊本県労働会館内 TEL 096-372-0915 http://kumamoto.rofuku.net/  
FAX 096-372-0600

### 第43回 通常総会

## ライフサポートセンター12月目途に 新事務局長に吉永徹男氏(JR連合)

熊本県労働者福祉協議会(＝労福協)は、5月18日、熊本全日空ホテルニュースカイで第43回通常総会を開きました。この総会に先だち中央労福協の笹森会長を招いて記念講演会を開きました。(2面に掲載)

総会は議長団に連合人吉球磨地域協議会の小川代議員と、ユニオントラベル熊本の浦本代議員を選んだ後、手嶋県労福協会長があいさつに立ち、「非正規労働者や



組合未加入の労働者との相談体制を築く、連合熊本のワンストップサービスと、県労福協の活動の柱となるライフサポートセンターは本年12月1日発足を目途に、それぞれ準備を進めている。また九州労金熊本本部は「気付きキャンペーン」全労済熊本は未組織の皆さんを対象とした「もっこす共済」を独自活動として取り組んでいる。熊本県自然災害遺児救援会の取り組みも、労福協としてお互いに認識を深めカンパ活動を進めている。私は昨年、県労福協会長に就任して、この1年間乗り切ってきたが、



▲出席した代議員の皆さん



▲設立44年目を迎えた県労福協の通常総会

本総会では役員交代をおこない、体制を確立していきたい」と述べました。

続いて行政から県商工観光労働部の労働雇用総室の長野室長と、熊本市経済振興局次長を務める商工振興部の宮原部長が、蒲島知事と幸山市長の祝辞を代読しました。

総会は成立を確認した後、岩本事務局長が2008年度の活動経過、会計決算の報告を、また江口監事が監査報告をおこない、収支剰余金の処分案も含め、これらを満場一致で承認しました。

続いて岩本事務局長が2009年度の活動計画案を提案しました。

岩本事務局長は労働者福祉を取り巻く今日の情勢を述べながら「格差縮小と反貧困に向け、①ライフサポートセンターなど、地域に顔の見える事業の展開、②多重債務問題対策を推進し、



▲県商工観光労働部長野労働雇用室長 ▲熊本市経済振興局宮原次長

改正貸金業法の完全施行を求めること、③割賦販売法改正に伴って、地方消費者行政の充実、④生活保護給付引き下げに反対し、反貧困の運動を共に創ること、⑤後期高齢者医療制度撤廃に取り組むこと、⑥協同労働の法制化に取り組むこと、が労福協の課題として掲



▲新事務局長  
吉永徹男さん

げ、社会的運動と政策の実現、勤労者の総合生活支援活動の推進、労働者福祉運動・事業体の基盤強化を進めて会員サービスの強化、運動推進のために連合、福祉事業体、各種NPOなどの団体や学者、弁護士、司法書士とも連携を深めていくことを活動の柱としていく」と説明し、予算案と共に承認されました。

次に田北役員選考委員長が、手嶋会長以下36人の役員を報告し、これも満場一致で承認されました。

なお、岩本事務局長の退任に伴い、新事務局長には吉永徹男さん(JR連合)が就任することになり、これからの県労福協の活動推進にあたることになりました。

通常総会  
記念講演

# 共感の得られる労働運動を 中央労福協の笹森会長が運動の進路を示す

県労福協の通常総会の前に、中央労福協の笹森清会長を講師に記念講演会『組合が変わる・社会を変える～思いを一つに！共感の得られる労働運動』を開きました。

笹森会長は、戦後の労働運動や、90年代以降、50の政党が生まれては消え自民党単独政権から連立政権に変化してきた、という歴史的背景をわかりやすく説明しながら、



労働運動は連帯が不可欠。皆で声を上げ行動で世論を動かそう。



■バブル崩壊後、2001年からの小泉政権により格差社会に入った。これはアメリカが日本に求めた年次改革要望書にもとづき、規制緩和や民営化が進められたことによるものだ。

■グローバル化に象徴されるように社会が変化し、少子高齢化が進んでいることから、労働人口が変化し高齢者が増加しているが、日本のすべてのシステムが高齢社会対応に作り変えられていない。システムやルールの作り変えが必要となっている。

■そこで連合や労福協は新たな労働・福祉運動を目指すと共に、家族や地域、地域環境、雇用労働など、壊された日本社会の再生を掲げ、連合評価委員会の提言を受けて労働運動の再生・活性化を柱に、共感の得られる労働運動の構築を目指している。これは職域（労働運動）と地域運動（市民運動）の融合などである。労働運動は連帯が不可欠、声を上げ行動で世論を動かせば政治は変わる、と参加者に訴えました。



▲熱心に耳を傾ける代議員の皆さん

## 熊本県労働者福祉協議会 助け合いの輪「もっこす共済」

労働組合がない未組織労働者の皆さんを対象

1000円から始められる福利厚生!

団体生命共済  
団体定期生命共済

交通災害共済  
交通災害共済

慶弔共済  
組合(慶弔)共済

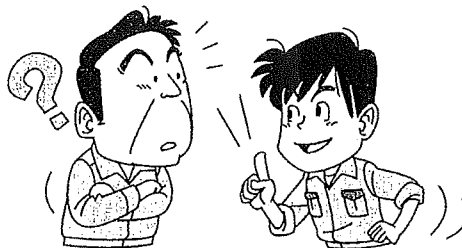
あなたの身の回りの知人や中小企業、商店にPRしてください

熊本県労働者福祉協議会は、勤労未組織労働者への福祉制度（助け合い共済）の普及を図るために、「もっこす共済会」を発足させました。そして各地区労働者福祉協議会に加盟する組合の関係団体や、組合員が居住する地区の事業所（中小企業や商店など）へ、全労済提携制度「もっこす共済」の加入呼びかけを取り組むことになりました。

共済内容は、死亡や障害、入院などの保障や、住宅災害見舞金、祝金などで、月掛金はお一人1000円です。あなたの回りの人たちにPRをお願いします。

県労福協の新しい共済で事業所単位で加入申し込みをしてみんなで入ると一人で加入するよりおトクな保障が受けられるらしいですよ。

『もっこす共済』? それ何?



お問い合わせや資料の請求は

熊本県労働者福祉協議会  
「もっこす共済会」  
☎096-372-0915

全労済熊本県本部  
(熊本県労働者共済生活協同組合)  
☎096-372-0631

# 全労済熊本県本部が創立50周年 記念講演会と祝賀会を開く

熊本県労働者共済生活協同組合として、1959年3月3日に設立された全労済熊本県本部は、本年3月7日、ホテルニューオータニ熊本で、創立50周年記念祝賀会を開きました。

当日はまず記念講演会が開かれ、「風の丘阿蘇大野勝彦美術館」の大野勝彦さんが『負けてたまるか、逆境こそ師なり』と題して講演しました。

大野さんは45歳の時、農作業中に機械にはさまれて両腕を切断、その後数多くの困難を乗り越えた方だけに、出席者は真剣に耳を傾けました。

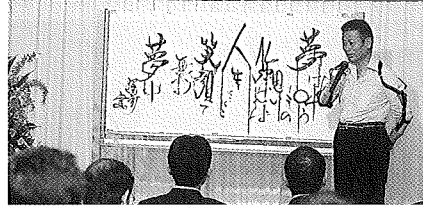
記念祝賀会は300人を超える来賓、会員組合、福祉事業体、友誼団体、役職員が出席しました。

松原県本部理事長が謝辞を述べた後全労済本部の古川副理事長、熊本県環境生活部の村田部長、連合熊本会長で県労働者福祉協議会の手嶋会長が祝辞を述べ、今後の発展に期待しました。

続いて鏡開きをおこない、小早川元理事長の発声で乾杯し祝宴に入りました。50年の足跡を経てきただけに、各テーブルでは想い出話に花が咲きました。お開きは豊永副理事長がお礼の言葉を述べて散会しました。

## 立50周年 記念講演

全労済熊本県本部・熊本県労働者共済生活協同組合



▲講演する大野勝彦さん

## 創立50周年 記念祝賀会

全労済熊本県本部・熊本県労働者共済生活協同組合



▲あいさつとお礼を述べる松原理事長



▲鏡開きで50周年を祝った

# 九州ろうきん熊本地区NPOフォーラム 6回目の今年、10団体に助成

九州ろうきん熊本県本部は、4月25日、水前寺共済会館で、「第6回九州ろうきん熊本地区NPOフォーラム」を開きました。



▲花田審査委員長

このNPOフォーラムは「ろうきんの理念」「社会貢献活動指針」にもとづき、県内のNPO法人、市民運動、ボランティア団体などを助成する活動で今年6回目を迎えました。

主催者を代表して赤塚県本部長が、「経済危機でNPO団体を始め、いろんなところにしわ寄せが及んでいる。



▲今回助成が決まった団体の代表の皆さん  
政治的なものも含め解決していくことが求められている」とあいさつ、続いて応募団体の審査にあたった委員会を代表して委員長の熊本学園大学の花田教授が、講評しました。そして助成が決まった10団体に助成金が贈呈され、前回助成を受けた2つの団体が1年間の活動報告をおこないました。

# 嘆煙

■5月3日の憲法記念日に『憲法と生存権を考える』をテーマに掲げた集いに参加した。NPO法人熊本ホームレス自立支援センターの事務局長は「毎月1回おにぎりを提供している。ホームレスの皆さんは身体をこわしている方もいる。私たちは生命と向き合っていると思っている」と語った。次にホームレスの方がマイクを握った。Tさんは派遣会社に勤務していたが、病気で休んだことから解雇され、そのうち貯えも底をつきアパートから追い出されホームレスになった、といういきさつを涙を浮



かべながら語った。「生活は空きカンを回収して業者に買いとってもらい、その収入で細々と生活してきたが、市の持ち去り禁止条例で監視がひどくなったし、経済危機で空きカンの相場が3分の1に下落して、収入も落ち込んでいる。働きたい、仕事をしたいのでハローワークにも何度か出向くが、住所がない、家がない、電話がない、車の免許がないため仕事は見つからないし、この不況のためなおさら…。でも私たちが人間として生きていきたい」と語った。■その次に熊本市役所生活保護課で働いている自治労の役員は、生活保護の申請が急増している。小泉政権が進めた規制緩和や三位一体改革が今日の格差社会をもたらした。セーフティネットも整備されていない、などと指摘した。他人事ではない、正社員だって解雇される時代だから…なんとかしようよ。

# 労福協の福祉事業体が「職員交流会」を開く

## 自己紹介や交流、懇親を深め合い今後の活動に

労福協の福祉事業体として活動している九州ろうきん、全労済、住宅生協、ユニオントラベル、労働会館、秋津レ

ークタウンクリニックは、2月3日、熊本全日空ホテルニュースカイで「事業体職員交流会」を開きました。

各事業体の自己紹介の後、テーブルを囲んで交流と懇親を深め合い、友情と連帯の絆が深まりました。



# 九州ろうきん熊本支店、熊本西支店、熊本県庁支店が合同ミニ集会

## 多重債務問題をテーマに、解決事例など実践報告

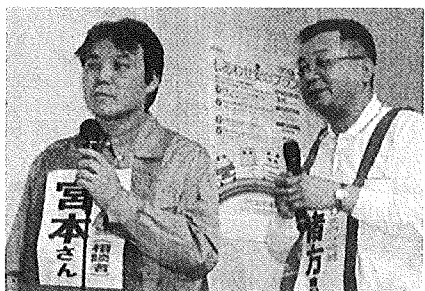
九州ろうきんの熊本支店（熊本地区、阿蘇地区、上益城地区）と、熊本西支店、熊本県庁支店の推進委員会は1月

31日、熊本全日空ホテルニュースカイで「ろうきん3店合同ミニ集会」を開きました。この集会のテーマは「お金の問題！気づきキャンペーン・パート2〈実践編〉」とし、多重債務対策を中心とした企画でした。

員会の松尾委員長が「多重債務問題は自殺にもつながる社会問題であり、個人だけのものではない、組合も企業も避けて通れない。気づきキャンペーンを展開しているろうきんとタッグを組んで取り組もう」と問題提起をしました。

主催者を代表して熊本地区推進委員会の吉見委員長が「多重債務問題から逃げず、組合の自主福祉活動の一環として、積極的に取り組んでいこう」とあいさつ、次いで熊本県庁支店推進委

集会は実例をもとにした寸劇や、全体討議では解決事例や課題、問題点などを出し合い意見交換をおこなうなど有意義なミニ集会となりました。



# 財団法人・熊本県労働会館が自主文化事業

## 稲津鍼灸師を講師にストレッチ体操

財団法人・熊本県労働会館は3月14日、労働会館4階ホールで、今年も自主文化事業「講演会」を開きました。

今回は、昨年好評だった健康体操の続編として『誰でも簡単に出来るストレッチ』をおこないました。

講師は前回と同じ秋津レークタウンクリニックで鍼灸師として患者さんたちに、リハビリマッサージ、鍼灸療法



▲ストレッチを指導する稲津講師

などを施している稲津英文先生です。

ふだんは机とイスを並べて座学の集会が多い4階ホールですが、今回はストレッチ体操ができるようにスペースをとり、イスを使ったストレッチをおこないました。

稲津先生のわかりやすい指導で、参加者は楽しく、ふだん使わない筋肉などをを使うなど、さわやかタイムでした。



▲イスを使ったストレッチ体操

## 編集後記

事務局長に選出されて数人の方から感想を求められた。浮かんだ言葉が江戸中期の米沢藩、第9代藩主だった上杉鷹山公の「為せば成る為させねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」だった。意味は「やろうと思えば何でもできる。できないのはやろうと思わないから。やろうとすることは他人のためではなく、自分のためになること」。私の心境です。この上杉家の先代がNHK大河ドラマ『天地人』で描かれています。これは「天の時、地の利、人の和が大事」と説いた上杉家の家訓です。私は浅学非才で未熟ですが、2つの言葉を信条にライフサポートセンター発足などに全力で取り組みます。ご指導をよろしく願います。（事務局長・吉永徹男）